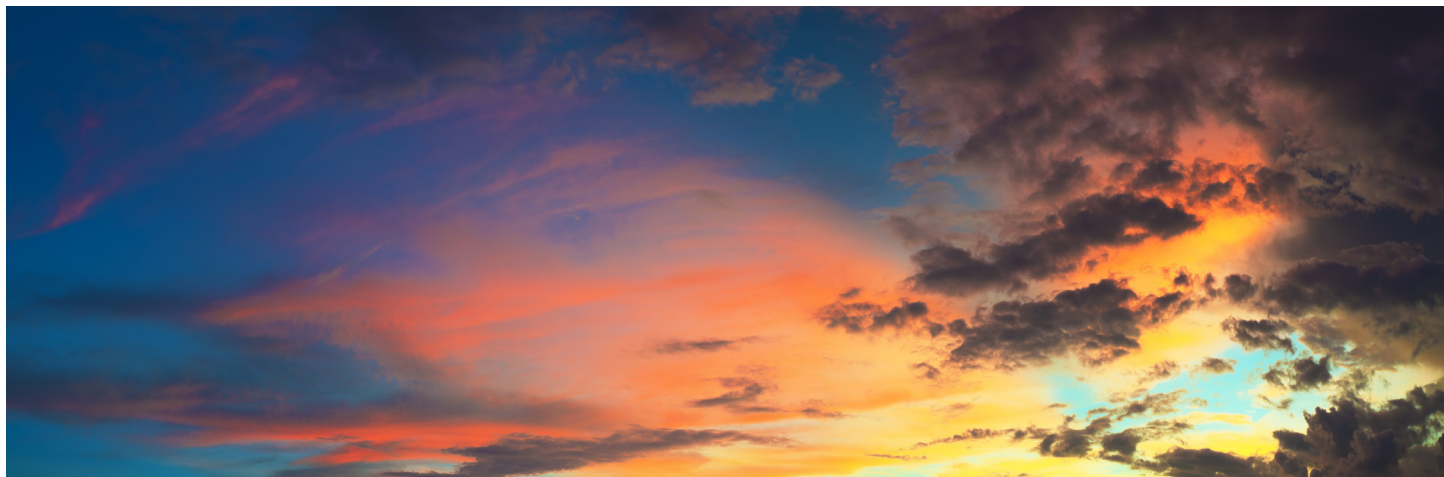




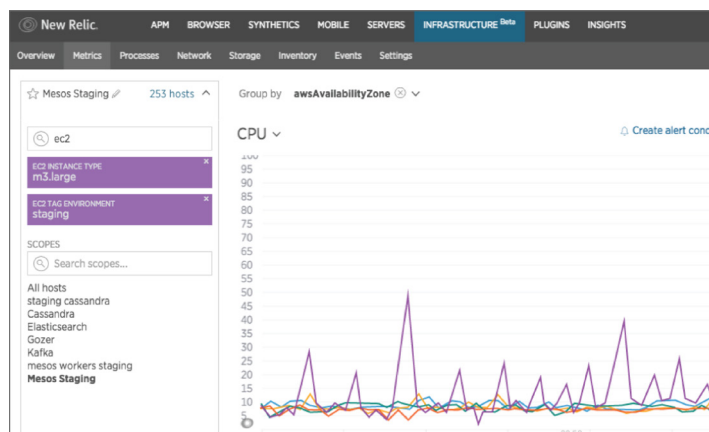
Amazon Web Services (AWS) 向け New Relic

ダイナミックに変化し続けるインフラストラクチャをより明確に把握

Amazon Web Services (AWS) の能力と柔軟性により、技術チームは多くの作業を素早くこなせられるようになってきましたが、提供するサービスは監視に対する新しい挑戦を突き付けられています。オンプレミスやクラウドリソースからコンテナやマイクロサービスまで様々な事柄が目まぐるしい勢いで変化しており、対応するのはますます至難の業です。New Relic Infrastructure は設定の監視とリアルタイムヘルスインデックスをダイナミックなタグを活用した手法でダッシュボードと連携させて、実働チームにアラートを出しダイナミックインフラストラクチャについて新しい見識を与えます。

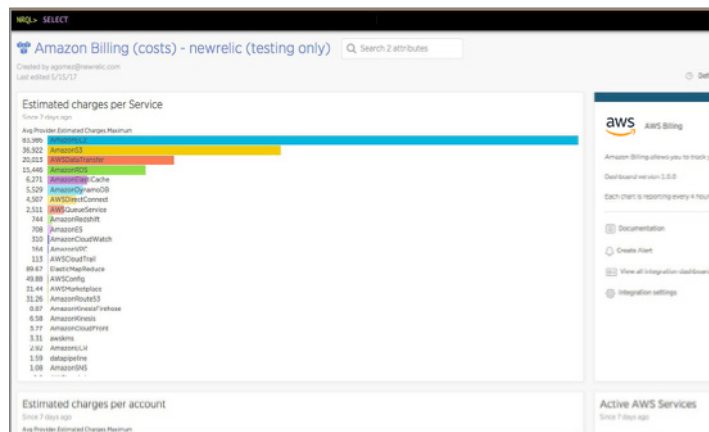
主な利点

- ・ 設定変更や Amazon EC2 稼働状態を可視化することで平均検出時間 (MTTD, mean time to detection) と平均復旧時間 (MTTR, mean time to resolution) を低減
- ・ ダイナミック アラートとインフラストラクチャに対応するダッシュボードを用いて設定とメンテナンスを最小限に抑える
- ・ AWS サービスの費用を即座に追跡し、今後の成長を予測AWS サービスの費用を即座に追跡し、今後の成長を予測
- ・ Amazon EC2 属性を細分化する能力により効率性を向上
- ・ チームのあらゆる活動を 100% 可視化することで DevOps インシアチブを支援



AWS サービスコストの追跡と予測

様々な AWS サービスを活用する急成長アプリケーションについて、請求関係の影響度を常に可視化しておきましょう。コスト予測のダッシュボードにより、ボトムラインに影響を与える予算の見積もりをより厳密に準備できます。



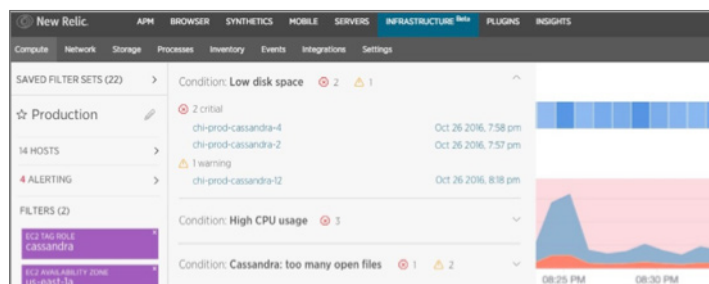
AWS 属性によるホストの細分化

Amazon EC2 のホストによって重要度が異なることに鑑み、New Relic Infrastructure は利用者が一番重要な物事にフォーカスしやすいように設計されています。役割や階層、アベイラビリティゾーン(AZ)、データセンター、カスタマイズ式の Amazon EC2 タグといった AWS 属性の「レンズ」を通してホストを表示します。Puppet と Ansible です。



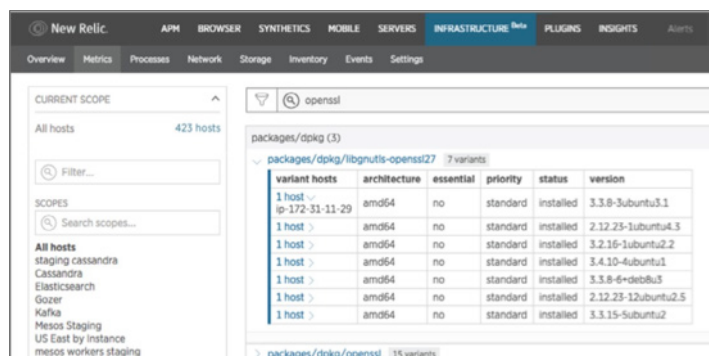
カスタマイズダッシュボードの構築とオートスケールアラートの作成

カスタマイズダッシュボードにより AWS データを好みの形式で表示できます。また、アラートを作成してインフラストラクチャのパフォーマンスに影響する開発状況を常に把握できます。ダッシュボードならびにアラートはどちらも Amazon EC2 の在庫に自動で対応し、Amazon EC2 エコシステム全体を常に監視できる点で非常に優れています。



ホスト (Amazon EC2 を含む) のリアルタイム表示

Amazon EC2 の価値にはインスタンスの数を継続的に自動で調整できる能力もその一つとして挙げられ、手掛けているタスクを常に適切な数で管理できます。しかし、監視のソリューションが最新の一番正確なインスタンスのリストに対応できなければ、あまり意味がありません。そのため、New Relic Infrastructure は Amazon EC2 インスタンスのリストを自動でスクラブし、リアルタイムで正確な情報を表示します。



Amazon EC2 等の可視化

Amazon EC2 が AWS 関連の業務量を最大限賄ってくれるものの、その他数多くの AWS サービスを活用して最新のアプリケーションを動作させていることかと思います。New Relic Infrastructure Pro を使用すれば、頻繁に使用する様々な AWS サービスの状況をリアルタイムで確認できます。以下はそのサービスの一例です。

- Amazon CloudFront
- Amazon ElastiCache
- Amazon Kinesis Firehose
- Amazon ECR
- Amazon DynamoDB
- Elastic Load Balancing
- AWS IAM
- Amazon SQS
- Amazon EBS
- Amazon Kinesis
- Amazon SNS
- Amazon VPC
- Amazon Route 53
- Amazon Elasticsearch Service
- Amazon RDS
- Amazon ECS

AWS サービスのビルトインサポートにより、支出分析、四半期予算レビューや予測の準備、サービスをスケールアップすることの影響評価、使用状況やデータフローの瞬間的な変化調査など、AWS 使用状況を表示・把握しやすくなるので、インフラストラクチャやアプリケーション管理を上手く微調整できます。

違いを体験

AWS サービスの完全なリアルタイム表示をご覧ください。New Relic Infrastructure の 30 日間無料トライアルは newrelic.com/infrastructure でお申込みいただけます。